



# 千葉労働者

## 強制的配転者を原職に戻せ 運転士資格保有者を登用しろ!!

### 2・22ダイ改阻止総決起集会へ

### 集まろう 千葉市民会館小ホール

18時

われわれの要求

- 全ての強制配転者について、原職復帰に向けた具体的展望を明らかにすること。
- 運転士登用について、組合所属による差別を中止し、全ての運転士資格保有者をすみやかに登用すること。

組織破壊攻撃を許すな!

動労千葉は、この間一貫して運転士から駅への強制配転者の原職復帰を要求して闘い続けてきた。あわせていまだに運転士に登用されていない「五五―五七」予科生の運転士登用についても、地労委での取り組みも含めて闘いぬいてきた。

しかし依然として、JR東千葉支社当局は、これら組合員の切実な要求を無視し、いわば「塩づけ」状態にしたまま、現在まで至っている。とりわけ一昨年八九年秋以降

組織破壊攻撃を許すな!

ることを、もう黙っている訳にはいかない。われわれは今次ダイ改阻止闘争で、冒頭にあげた要求を掲げて、ストライキをもってしても闘いぬく決意である。

長い人は

四年半に

駅への強制配転は、六年の「人活センター」

の設置の時から始まり、分割・民営化直後の八七年七月から翌八八年四月にかけて強行された。とりわけそれが動労千葉の支部役員、活動家や青年部員に集中した。当局は当初の「営業の方が人が足りない」「全員が経験してもらおう」「約二年ガマンしてくれ」などと言いつつ、それでも八九年八月までは「人活メンバー」を除けば、古い順に運転士に復帰もしていた。

ところが、八九年九月以降これが根本から変わり、運転士への復帰が完全に断たれることになった。それと同時にJR総連の組合員の運転士登用が行われ、予科生を中心に登用をエサにした動労千葉や国労への組織破壊攻撃が始まった。

事実八九年十一月・運転士七名、九〇年一月・車掌十五名、九〇年八月・運転士一名、九〇年十二月・運転士十五名、九〇年十二月・運転士見習八名と相次いで運転士、同

全力で決起しよう

強制配転者の原職復帰と運転士資格保有者の運転士への登用に向けて、三波のストライキをかかげて、今次ダイ改闘争に全力で打ちあがろう。

二二日九一・三ダイ改粉砕総決起集会に集まり、全支部で強固なスト体制を構築しよう。

### 諸要求の実現へ

### 三波のストライキを闘おう